

令和4年度第4回県政モニターアンケート結果の概要について

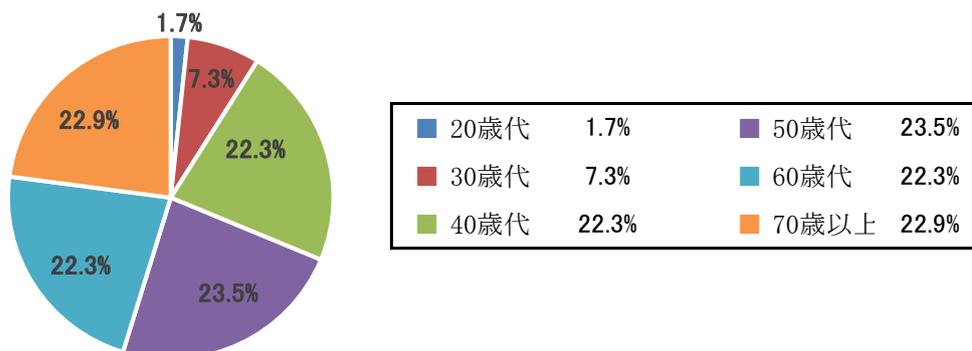
1 調査の概要

- (1) 調査期間 令和5年1月25日～令和5年2月9日
- (2) 調査方法 郵送、電子申請
- (3) 調査対象 県政モニター 195名
- (4) 回収数(率) 180名 (92.3%)
- (5) 調査内容 地下水保全に関するアンケート

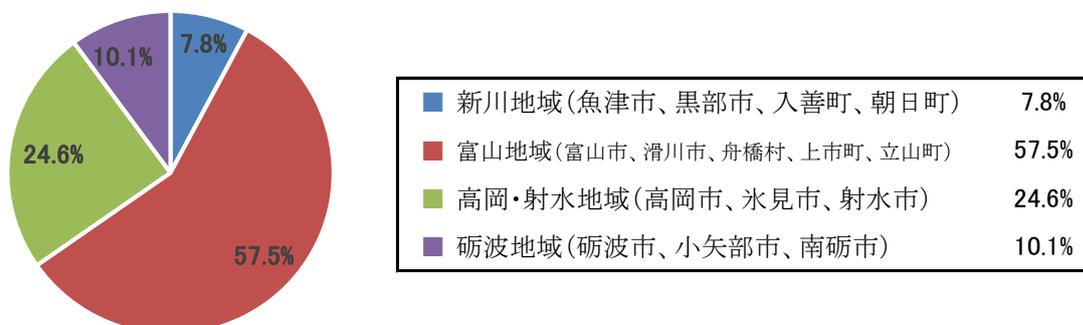
2 調査結果の概要

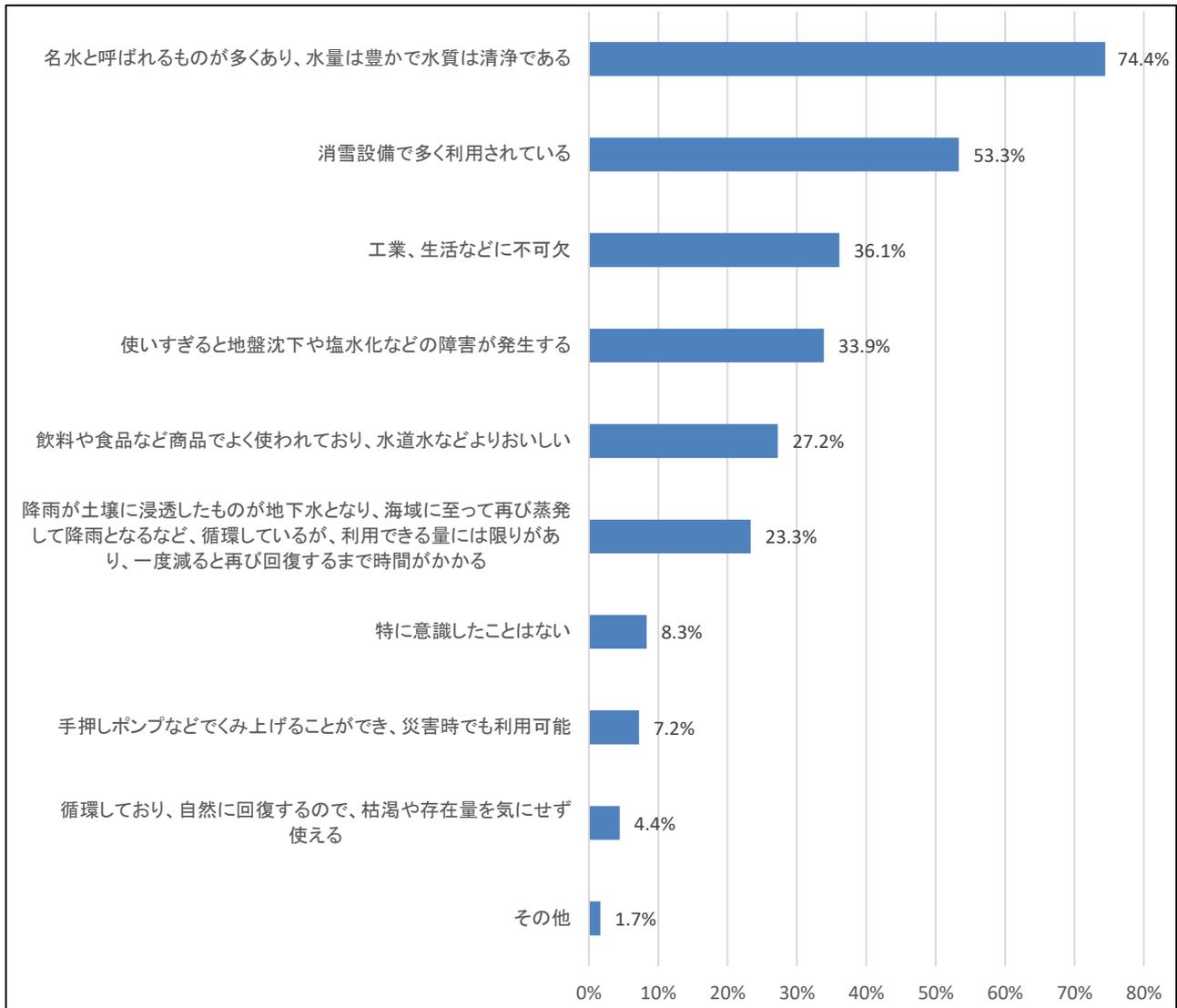
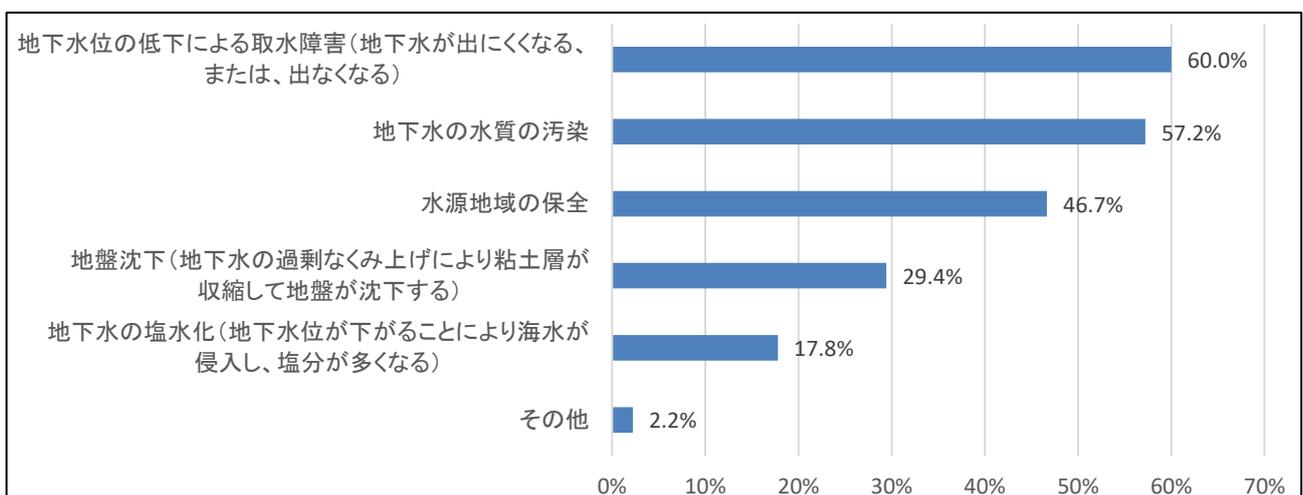
※回答率は、小数点第2位を四捨五入したため、合計が100%にならない場合があります。

問1 あなたの年齢について教えてください。

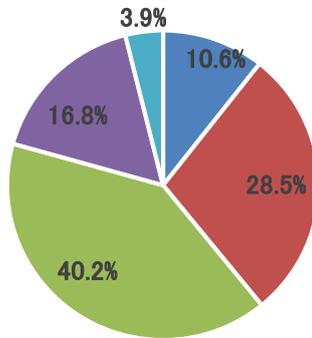


問2 あなたのお住まいの地域を教えてください。



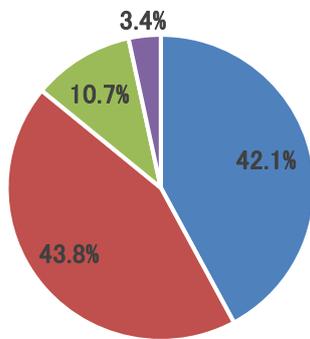
問3**とやまの地下水についてお聞きします。****とやまの地下水について、どのようにお考えですか。(複数回答可)****問4****地下水に関する問題のうち最も関心のあるものはどれですか。****(複数回答可)**

問5 地下水を利用する消雪設備の節水について、どのようにお考えですか。



■ 道路交通を確保し、生活を守るためなので、消雪設備に節水対策を行う必要はない	10.6%
■ 地下水は大事だが、費用がかかると消雪設備を設置しにくくなるので、稼働時間の短縮など費用がかからない範囲で節水対策すべき	28.5%
■ 地下水保全と道路交通の確保等を両立するためには節水タイマーやインバータの導入など費用がかかる節水対策も行うべき	40.2%
■ 地下水を使うと、飲用、工業用など他用途への支障や地盤沈下、塩水化が生じるおそれがあるので、ヒートパイプなど地下水以外の方法で消雪すべき	16.8%
■ その他	3.9%

問6 雨水などを人工的に地下に浸透させる地下水の涵養についてどのようにお考えですか。

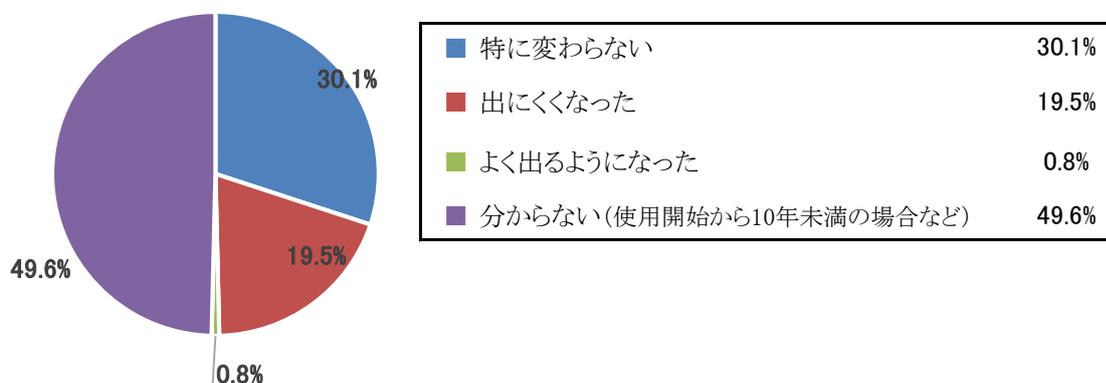


■ 地下水涵養は、日常的に多くの地下水を利用する工場などが雨水浸透や還元井(地下水を地中に戻すための井戸)により行うべき	42.1%
■ 地下水の水質汚染が不安なので、地下水涵養は、汚染のおそれがない土地(水田や遊休地、水源涵養林、工場敷地内の緑地など)で行うべき	43.8%
■ 一時的な地下水位の低下があっても今は自然に回復しているので、人工的に地下水を増やそうとするなど地下水環境の人為的な改変は避けるべき	10.7%
■ その他	3.4%

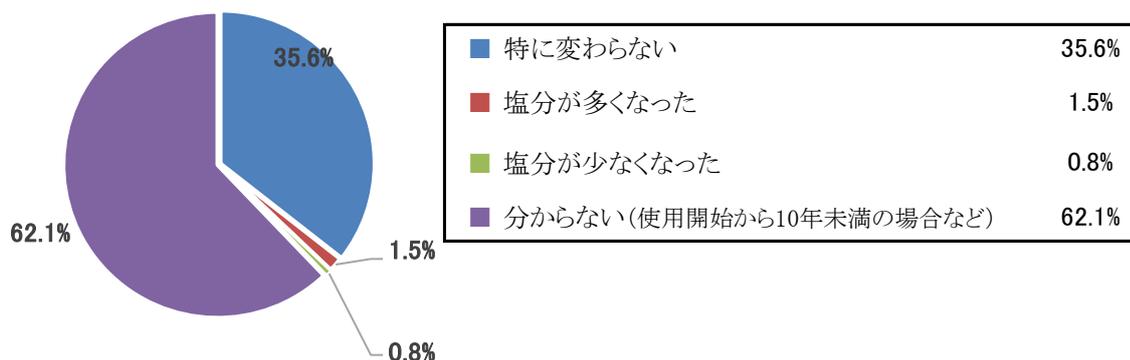
問7 地下水を利用されている方にうかがいます。

過去(10~20年前)と比較して、地下水の出やすさや水質、水温などに変化はありましたか。

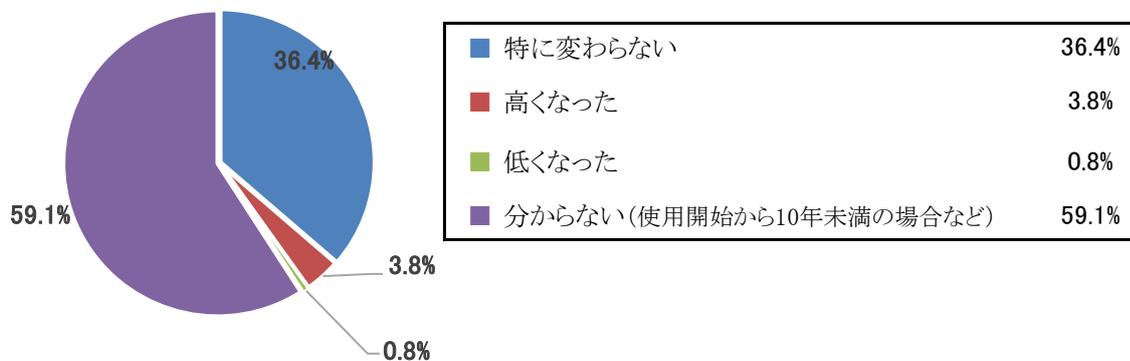
(1) 地下水の出やすさ



(2) 地下水の水質



(3) 地下水の水温



問8 (行政に対して)今後、地下水に関するどのような施策に最も力を入れるべきと考えられますか。(複数回答可)

